

5章 図形の性質と証明

1節 三角形

証明といえるかな？

•A

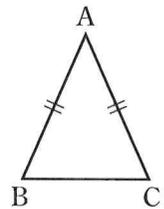
左の図で、点Aを中心にして、直線 l と2点で交わる円をかき、その交点をB、Cとして、 $\triangle ABC$ をかいてみましょう。

2つの辺の長さが等しい三角形について、どんなことがいえるでしょうか。

l _____

$\triangle ABC$ で、2つの辺の長さが等しければ、2つの角の大きさが等しいことは、次のように表すことができます。

$\triangle ABC$ で、
 $AB=AC$ ならば、 $\angle B=\angle C$ である。……(ア)

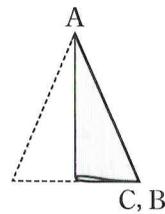


話しあおう

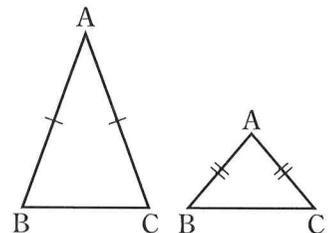
教科書 p.131

(ア)のことがらが、 $AB=AC$ であるどんな三角形でも成り立つことを示すのに、下の2つの説明は証明といえるでしょうか。

$AB=AC$ の $\triangle ABC$ を紙でつくって、2つに折るとぴったり重なるので、 $\angle B=\angle C$ が成り立つ。



$AB=AC$ の $\triangle ABC$ をかいて、 $\angle B$ と $\angle C$ の大きさを分度器で測ってくらべると等しくなるので、 $\angle B=\angle C$ が成り立つ。



解答例

紙でつくったりかいたりした三角形の形で成り立つことしかわからないので、証明とはいえない。

1

二等辺三角形

学習のねらい

二等辺三角形の基本的な性質を調べて、証明によってそれを確かめます。また、定義、定理、逆、反例などの意味を理解します。正三角形の定義や性質についても理解します。

教科書のまとめ テスト前にチェック

□定義

▶使うことばの意味をはっきり述べたものを**定義**といいます。

例 二等辺三角形の定義…2つの辺が等しい三角形

□二等辺三角形の頂角、底辺、底角

▶**頂角**…等しい辺のつくる角(右の図では $\angle A$)

底辺…頂角に対する辺(右の図では辺BC)

底角…底辺の両端の角(右の図では $\angle B$ と $\angle C$)

□二等辺三角形の底角

▶二等辺三角形の2つの底角は等しいです。

□二等辺三角形の頂角の二等分線

▶二等辺三角形の頂角の二等分線は、底辺を垂直に2等分します。

□定理

▶証明されたことがらのうち、基本になるものを**定理**といいます。

□2角が等しい三角形

▶2つの角が等しい三角形は、二等辺三角形です。

□逆

▶2つのことがらが、仮定と結論を入れかえた関係にあるとき、一方を他方の**逆**といいます。

注 あることがらが正しくても、その逆は正しいとは限りません。

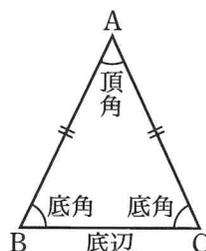
□反例

▶あることがらの仮定にあてはまるもののうち、結論が成り立たない場合の例を、**反例**といいます。

□正三角形

▶3つの辺がすべて等しい三角形 (定義)

正三角形は、二等辺三角形の特別なものとみることができます。



二等辺三角形の性質を見つけて、証明しましょう。

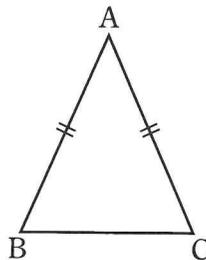
教科書 p.132

問1

$\triangle ABC$ で、
 $AB=AC$ ならば、 $\angle B=\angle C$ である。……(ア)

前ページ(教科書 p.131)の(ア)のことがら(上)の仮定と結論を、次の□□□□に書き入れなさい。

$\triangle ABC$ で、
 仮定 □□□□ 結論 □□□□



ガイド

「○○○ならば、□□□である」とき、○○○を仮定、□□□を結論といいます。

解答

仮定 $AB=AC$ 結論 $\angle B=\angle C$

教科書
p.133

問2

前ページ(教科書 p.132)の **証明** について、次の問いに答えなさい。

- (1) 「2組の辺とその間の角が、それぞれ等しい」とありますが、
「2組の辺とその間の角」とは、どの辺とどの角のことですか。
- (2) $\triangle ABD \equiv \triangle ACD$ を示すと、(教科書) 131 ページの(ア)が成り立つといえるのはなぜですか。

ガイド

証明のすじ道を確認して考えます。

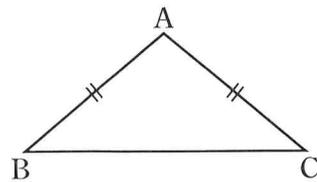
解答

- (1) 2組の辺……**辺 AB と 辺 AC, 辺 AD と 辺 AD**
その間の角…… **$\angle BAD$ と $\angle CAD$**
- (2) $\triangle ABD \equiv \triangle ACD$ を示すと、合同な図形では、対応する角が等しいから。

教科書
p.133

話しあおう

$AB=AC$ である三角形を右の図のように変えると、
(教科書) 131 ページの(ア)が成り立つことを
あらためて証明しなおす必要があるでしょうか。



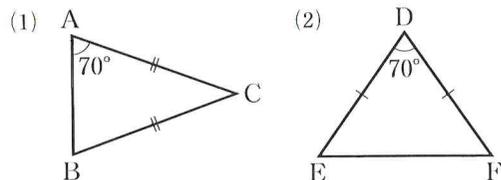
解答例

証明で、 $\triangle ABD \equiv \triangle ACD$ から教科書 131 ページの(ア)が成り立つことを示しているが、
三角形の形に関係なく、 $AB=AC$ という条件だけで証明しているので、あらためて証明しなおす必要はない。

教科書
p.134

問3

右の図の三角形は、同じ印をつけた
辺の長さが等しい二等辺三角形です。
わかっていない内角の大きさを、
それぞれ求めなさい。



ガイド

二等辺三角形の2つの底角は等しい、三角形の内角の和は 180° を使います。

解答

- (1) $\triangle CAB$ は $AC=BC$ の二等辺三角形だから、 $\angle B=\angle A$ より、 $\angle B=70^\circ$
 $\angle C=180^\circ-(70^\circ+70^\circ)=40^\circ$
 $\angle B=70^\circ, \angle C=40^\circ$
- (2) $\triangle DEF$ は $DE=DF$ の二等辺三角形だから、 $\angle E=\angle F$ より、
 $\angle E=\angle F=(180^\circ-70^\circ)\div 2=55^\circ$
 $\angle E=55^\circ, \angle F=55^\circ$

証明を読みなおして、二等辺三角形の性質を見つけましょう。

教科書
p.134



(教科書) 132 ページの **証明** から、二等辺三角形の2つの底角は等しいことが
わかりました。この証明を読みなおしてみると、二等辺三角形について、
ほかにどんなことがわかるでしょうか。

ガイド

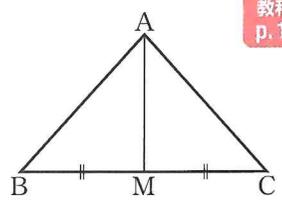
$\triangle ABD \equiv \triangle ACD$ からいえることを考えます。
 合同な2つの図形では、「対応する辺が、それぞれ等しい」「対応する角が、それぞれ等しい」ことから、記号を使って表します。

解答例

対応する辺の長さは等しいから、 $BD=CD$
 対応する角の大きさは等しいから、 $\angle ADB = \angle ADC$
 このとき、 $\angle BDC = 180^\circ$ だから、 $\angle ADB = 90^\circ$ 、 $\angle ADC = 90^\circ$ つまり、 $AD \perp BC$

問4

$AB=AC$ の二等辺三角形 ABC で、底辺 BC の中点を M とすると、 $\angle BAM = \angle CAM$ 、 $AM \perp BC$ となります。



教科書 p.135

- 上のことがらの仮定と結論を、記号を使って書きなさい。
- 上のことがらを証明しなさい。

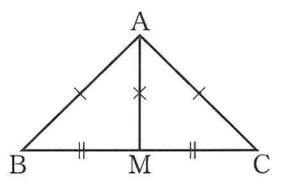
ガイド

- 仮定は、二等辺三角形の定義(2つの辺が等しい三角形)と、 M が辺 BC の中点であることを、記号を使って表します。
- $AM \perp BC$ を証明するためには、 $\angle AMB = \angle AMC = 90^\circ$ を示します。そのためには $\triangle ABM$ と $\triangle ACM$ の合同をいいます。

解答

- 仮定… $AB=AC$ 、 $BM=CM$ 結論… $\angle BAM = \angle CAM$ 、 $AM \perp BC$
- (証明) $\triangle ABM$ と $\triangle ACM$ で、

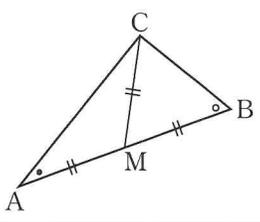
仮定より、 $AB=AC$ ……① $BM=CM$ ……②
 また、 AM は共通だから、 $AM=AM$ ……③
 ①、②、③から、3組の辺が、それぞれ等しいので、
 $\triangle ABM \equiv \triangle ACM$



合同な図形では、対応する角は等しいので、 $\angle BAM = \angle CAM$
 また、 $\angle AMB = \angle AMC$ ……④
 ④と、 $\angle AMB + \angle AMC = 180^\circ$ から、 $2\angle AMB = 180^\circ$
 よって、 $\angle AMB = 90^\circ$
 つまり、 $AM \perp BC$

説明しよう

右の図のような $\triangle ABC$ があります。
 点 M は辺 AB の中点で、 $MA=MC$ です。
 このとき、 $\angle ACB$ の大きさは何度になるでしょうか。
 また、その大きさになる理由を説明しましょう。



教科書 p.135

ガイド

$\triangle MAC$ と $\triangle MBC$ は二等辺三角形になります。
 二等辺三角形の2つの底角は等しいことを使って、説明します。

解答例

$\angle ACB=90^\circ$

(説明) $\triangle MAC$ は二等辺三角形だから、 $\angle MAC=\angle MCA$ ……①

$\triangle MBC$ は二等辺三角形だから、 $\angle MBC=\angle MCB$ ……②

$$\begin{aligned} \text{①, ②から, } \angle A + \angle ACB + \angle B &= \angle MAC + (\angle MCA + \angle MCB) + \angle MBC \\ &= 2(\angle MCA + \angle MCB) \\ &= 2\angle ACB \end{aligned}$$

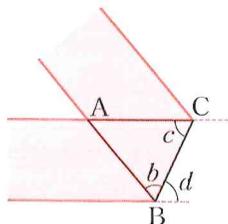
$\angle A + \angle ACB + \angle B = 180^\circ$ だから、 $\angle ACB = 180^\circ \div 2 = 90^\circ$

2角が等しい三角形について学びましょう。

教科書 p.135



リボンを、右の図のように、線分 BC を折り目として折ります。このとき、重なった部分の $\triangle ABC$ で、 $\angle B$ と $\angle C$ の間には、どんな関係があるでしょうか。



ガイド

リボンの両端の線は平行です。線分 BC は、平行線に交わる線で、 $\angle b$ 、 $\angle c$ は、テープの重なった部分の角です。

解答

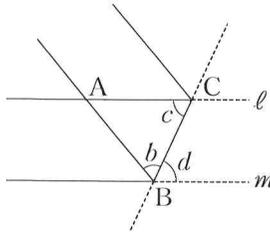
右の図で、 $\ell \parallel m$ から、平行線の錯角は等しいので、

$\angle c = \angle d$ ……①

また、折り返した角だから、 $\angle b = \angle d$ ……②

①, ②から、 $\angle b = \angle c$

つまり、 $\triangle ABC$ で、 $\angle B = \angle C$



教科書 p.136

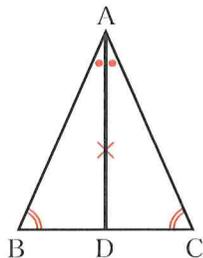
問5

$\triangle ABC$ で、 $\angle B = \angle C$ ならば、 $AB = AC$ ……(イ)

上の(イ)の証明で、にあてはまる記号やことばを書き入れなさい。

証明

$\angle A$ の二等分線をひき、BC との交点を D とする。



$\triangle ABD$ と $\triangle ACD$ で、

AD は $\angle A$ の二等分線だから、

$\angle BAD = \angle$ ……①

仮定より、 $\angle B = \angle$ ……②

三角形の内角の和が 180° であることと、

①, ②から、 $\angle ADB = \angle$ ……③

また、AD は共通だから、

$AD = AD$ ……④

①, ③, ④から、が、それぞれ等しいので、

$\triangle ABD \cong \triangle ACD$

合同な図形では、対応する辺は等しいので、

$AB = AC$

ガイド

まず、仮定と結論をはっきりさせておきましょう。また、(イ)は、二等辺三角形の底角の性質、「二等辺三角形の2つの底角は等しい」の、仮定と結論を入れかえたものになっています。

解答

$$\angle BAD = \angle \boxed{\text{CAD}} \cdots \cdots \textcircled{1}$$

$$\angle B = \angle \boxed{\text{C}} \cdots \cdots \textcircled{2}$$

$$\angle ADB = \angle \boxed{\text{ADC}} \cdots \cdots \textcircled{3}$$

1組の辺とその両端の角

問6

$AB=AC$ の二等辺三角形 ABC で、底角 $\angle B$ 、 $\angle C$ の二等分線をひき、その交点を P とします。

教科書
p.136

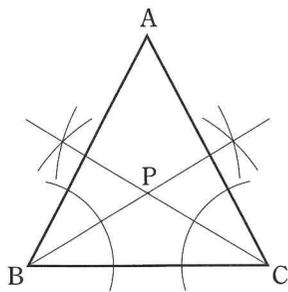
- (1) 上のことがらにあう図をノートにかきなさい。
- (2) $\triangle PBC$ が二等辺三角形となることを証明しなさい。

ガイド

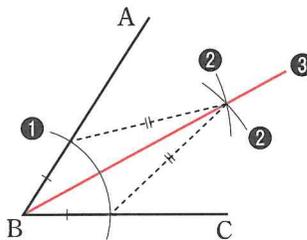
- (1) 二等辺三角形 ABC をかいてから、右下の【参考】のように角の二等分線をかきます。
- (2) $\triangle PBC$ の2つの角が等しいことが示せれば、 $\triangle PBC$ は二等辺三角形であるといえます。

解答

(1)



【参考】角の二等分線のかき方



- (2) (証明) $\triangle ABC$ は $AB=AC$ の二等辺三角形で、二等辺三角形の2つの底角は等しいので、 $\angle B = \angle C \cdots \cdots \textcircled{1}$

$$\text{仮定より、} \angle PBC = \frac{1}{2} \angle B \cdots \cdots \textcircled{2} \quad \angle PCB = \frac{1}{2} \angle C \cdots \cdots \textcircled{3}$$

$$\textcircled{1}, \textcircled{2}, \textcircled{3} \text{ から、} \angle PBC = \angle PCB$$

2つの角が等しい三角形は二等辺三角形だから、
 $\triangle PBC$ は、二等辺三角形である。

仮定と結論を入れかえたことがらについて考えましょう。

問7

次のことがらの逆をいいなさい。

教科書
p.137

- (1) $\triangle ABC$ と $\triangle DEF$ で、
 $\triangle ABC \equiv \triangle DEF$ ならば、 $AB=DE$ 、 $BC=EF$ 、 $CA=FD$ である。
- (2) $\triangle ABC$ と $\triangle DEF$ で、
 $\triangle ABC \equiv \triangle DEF$ ならば、 $\angle A = \angle D$ 、 $\angle B = \angle E$ 、 $\angle C = \angle F$ である。

ガイド

もとのことがらの仮定と結論を入れかえます。

解答

- (1) $\triangle ABC$ と $\triangle DEF$ で、
 $AB=DE$, $BC=EF$, $CA=FD$ ならば、 $\triangle ABC \equiv \triangle DEF$ である。
 (2) $\triangle ABC$ と $\triangle DEF$ で、
 $\angle A = \angle D$, $\angle B = \angle E$, $\angle C = \angle F$ ならば、 $\triangle ABC \equiv \triangle DEF$ である。

問8

次のことがらの逆をいいなさい。また、それが正しいかどうかを調べて、正しくない場合には反例を示しなさい。

教科書 p.138

- (1) 整数 a , b で、 a も b も奇数ならば、 $a+b$ は偶数である。
 (2) $\triangle ABC$ で、 $\angle C$ が直角ならば、 $\angle A + \angle B = 90^\circ$ である。

ガイド

仮定にあてはまるもののうち、結論が成り立たない場合の例を、反例といいます。反例を1つでも示せば、あることがらが正しくないことが説明できます。

解答

- (1) 整数 a , b で、 $a+b$ が偶数ならば、 a も b も奇数である。
 正しくない。(反例) $a=2$, $b=4$
 (2) $\triangle ABC$ で、 $\angle A + \angle B = 90^\circ$ ならば、 $\angle C$ は直角である。正しい。

正三角形とその性質について学びましょう。

問9

$\triangle ABC$ で、 $\angle A = \angle B = \angle C$ ならば、 $AB=BC=CA$ であることを証明しなさい。

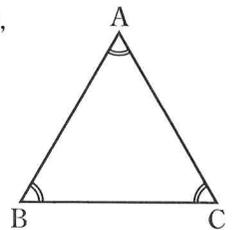
教科書 p.139

ガイド

正三角形は、二等辺三角形の特別なものだから、二等辺三角形の性質をすべてもっています。

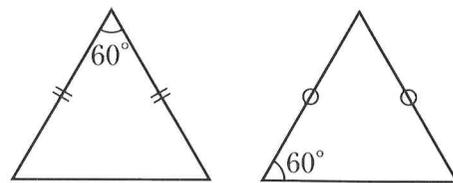
解答

- (証明) 2つの角が等しい三角形は二等辺三角形だから、 $\triangle ABC$ で、
 $\angle A = \angle B$ より、 $CA=CB$ ……①
 $\angle B = \angle C$ より、 $AB=AC$ ……②
 ①, ②から、 $AB=BC=CA$



説明しよう

頂角が 60° の二等辺三角形は、どんな三角形ですか。また、底角が 60° の二等辺三角形は、どんな三角形ですか。その三角形になる理由も説明しましょう。



教科書 p.139

ガイド

残りの角を求めてみます。

解答

どちらの場合も、正三角形である。

(説明) 頂角が 60° のとき、2つの底角は $(180^\circ - 60^\circ) \div 2 = 60^\circ$ であるから、3つの角はすべて 60° である。底角が 60° のとき、頂角は $180^\circ - 60^\circ \times 2 = 60^\circ$ であるから、3つの角はすべて 60° である。よって、どちらの場合も、正三角形である。



1

次のことがらの逆をいいなさい。

また、それが正しいかどうかを調べて、正しくない場合には反例を示しなさい。

- (1) $\triangle ABC$ で、 $\angle C$ が鈍角^{どんかく}ならば、 $\triangle ABC$ は鈍角三角形である。
- (2) a が6の倍数ならば、 a は偶数である。
- (3) 整数 a, b で、 a も b も偶数ならば、 ab は偶数である。
- (4) 2つの直線が平行ならば、同位角は等しい。
- (5) 2つの三角形が合同ならば、面積は等しい。

ガイド

反例を1つでも示せば、あることがらが正しくないことが説明できます。

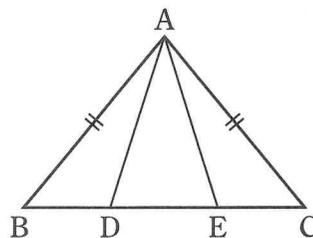
解答

- (1) $\triangle ABC$ が鈍角三角形ならば、 $\angle C$ は鈍角である。正しくない。
(反例) $\angle A=130^\circ, \angle B=20^\circ, \angle C=30^\circ$
- (2) a が偶数ならば、 a は6の倍数である。正しくない。
(反例) $a=2$
- (3) 整数 a, b で、 ab が偶数ならば、 a も b も偶数である。正しくない。
(反例) $a=2, b=3$
- (4) 同位角が等しいならば、2つの直線は平行である。正しい。
- (5) 2つの三角形の面積が等しいならば、2つの三角形は合同である。正しくない。
(反例) 底辺 1 cm、高さ 6 cm の三角形と底辺 2 cm、高さ 3 cm の三角形

2

$AB=AC$ の二等辺三角形 ABC があります。

底辺 BC 上に、 $BD=CE$ となる2点 D, E をとるとき、 $\triangle ADE$ はどんな三角形になりますか。



ガイド

二等辺三角形になることを予想して、2つの辺の長さが等しいことを証明します。

解答

$\triangle ABD$ と $\triangle ACE$ で、

仮定より、 $AB=AC$ ……①

$BD=CE$ ……②

$\triangle ABC$ は $AB=AC$ の二等辺三角形で、二等辺三角形の2つの底角は等しいので、

$\angle ABD=\angle ACE$ ……③

①, ②, ③から、2組の辺とその間の角が、それぞれ等しいので、 $\triangle ABD \equiv \triangle ACE$

合同な図形では、対応する辺は等しいので、 $AD=AE$

よって、 $\triangle ADE$ は $AD=AE$ の二等辺三角形になる。

$AD=AE$ の二等辺三角形

2 直角三角形の合同

学習のねらい

三角形の合同条件と二等辺三角形の性質から、2つの直角三角形が合同になる条件を導き、さらに、それを使った証明を学習します。

教科書のまとめ テスト前にチェック

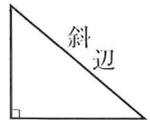
□斜辺

▶ 直角三角形で、直角に対する辺を斜^{しやへん}辺といいます。

□直角三角形の合同条件

▶ 2つの直角三角形は、次のそれぞれの場合に合同になります。

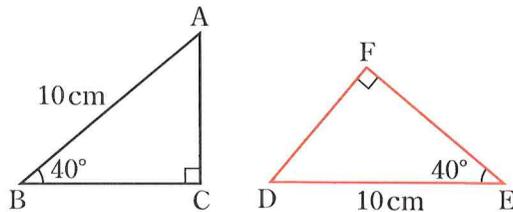
- ① 斜^{しやへん}辺と1つの鋭^{えいかく}角が、それぞれ等しいとき
- ② 斜^{しやへん}辺と他の1辺が、それぞれ等しいとき



2つの直角三角形は、どんな場合に合同になるかを考えましょう。



右の図の2つの直角三角形は、合同でしょうか。



教科書 p.140

ガイド

三角形の合同条件のどれにあてはまるかを考えます。

解答

△ABC と △DEF で、 $AB=DE$ ……①

$\angle B=\angle E=40^\circ$ ……② $\angle C=\angle F=90^\circ$ ……③

②, ③から、 $\angle A=\angle D=180^\circ-40^\circ-90^\circ=50^\circ$ ……④

①, ②, ④から、1組の辺とその両端^{りやうたん}の角が、それぞれ等しいので、

$$\triangle ABC \equiv \triangle DEF$$

△ABC と △DEF は合同であるといえる。

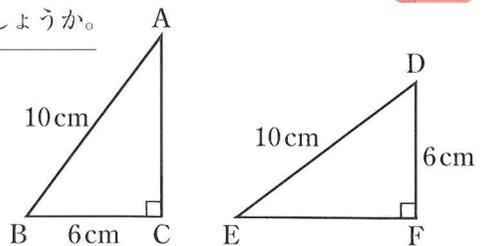


斜辺が10 cmで、他の1辺が6 cmの直角三角形をノートにかいて、ほかの人とくらべてみましょう。どれも合同な三角形になるでしょうか。

教科書 p.141

解答例

斜辺が10 cmで、他の1辺が6 cmの直角三角形をいろいろかいてくらべてみると、右の図のようにどれも合同になりそうである。



説明しよう

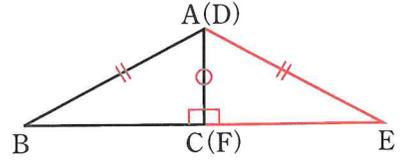
教科書 p.141

上でできた△ABE(解答欄)は、どんな三角形ですか。

また、△ABEでは、 $\angle B=\angle E$ が成り立ちます。その理由を説明しましょう。

ガイド

$AB=DE$ より $AB=AE$ であることがわかります。
また、点 B, C, E は一直線上に並びます。さらに、
直線 AC で折って重ねるとどうなるかを考えます。



解答

$\triangle ABE$ は $AB=AE$ の二等辺三角形である。

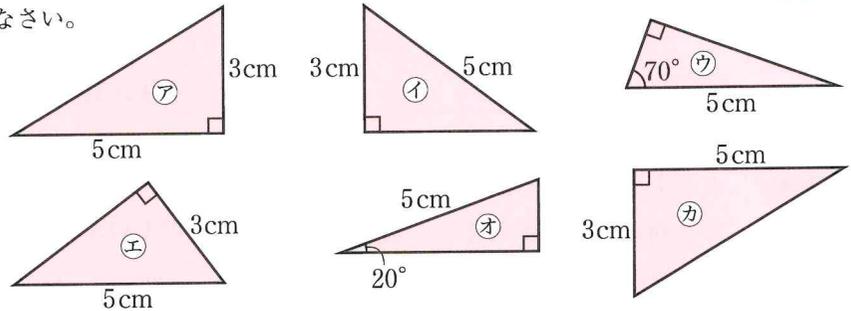
(説明) 二等辺三角形の底角は等しいので、 $\angle B=\angle E$ が成り立つ。

参考

「斜辺と他の1辺が、それぞれ等しいとき、2つの直角三角形は合同である」を証明する手順になります。このことを証明するのに、二等辺三角形の性質を使ったことをおぼえておきましょう。

問1

下の㉗~㉙の三角形を、合同な三角形の組に分けなさい。また、そのとき使った合同条件をいいなさい。

教科書
p.142

ガイド

直角三角形の場合は、三角形の合同条件に加えて、直角三角形の合同条件が利用できます。

解答

㉗と㉜……2組の辺とその間の角が、それぞれ等しい。

㉘と㉚……直角三角形の斜辺と他の1辺が、それぞれ等しい。

㉙と㉛……直角三角形の斜辺と1つの鋭角が、それぞれ等しい。

(1組の辺とその両端の角が、それぞれ等しい。)

直角三角形の合同条件を使って、図形の性質を証明しましょう。

問2

$\angle XOY$ の二等分線上の点 P から、2辺 OX, OY に、垂線 PH, PK をそれぞれひくとき、 $PH=PK$ となることを証明しなさい。

教科書
p.143

ガイド

直角三角形の合同条件を使って証明します。

解答

(証明) $\triangle POH$ と $\triangle POK$ で、

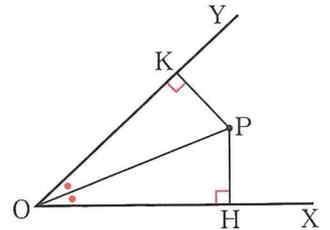
$$\text{仮定より, } \angle PHO = \angle PKO = 90^\circ \quad \cdots \cdots \textcircled{1}$$

$$\angle POH = \angle POK \quad \cdots \cdots \textcircled{2}$$

$$PO \text{ は共通だから, } PO = PO \quad \cdots \cdots \textcircled{3}$$

①, ②, ③から、直角三角形の斜辺と1つの鋭角が、それぞれ等しいので、 $\triangle POH \cong \triangle POK$

合同な図形では、対応する辺は等しいので、 $PH=PK$





練習問題

2 直角三角形の合同

教科書 p.143

1 AB=AC の二等辺三角形 ABC で、頂点 A から底辺 BC に垂線をひき、その交点を H とします。

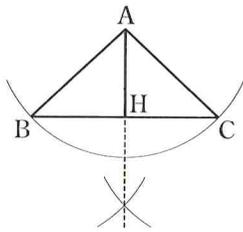
- (1) 上のことがらにあう図をノートにかきなさい。
- (2) $BH=CH$ となることを証明しなさい。

ガイド

(1) 二等辺三角形の頂点 A から底辺 BC への垂線にかくには、2点 B、C をそれぞれ中心にして半径 AB (等しい半径であればよい) の円をかき、その交点と A を通る直線をひきます。

解答例

(1)



(2) (証明) $\triangle ABH$ と $\triangle ACH$ で、

仮定より、

$$\angle AHB = \angle AHC = 90^\circ \quad \dots\dots \textcircled{1}$$

$$AB = AC \quad \dots\dots \textcircled{2}$$

AH は共通だから、

$$AH = AH \quad \dots\dots \textcircled{3}$$

①, ②, ③から、直角三角形の斜辺と他の1辺が、それぞれ等しいので、

$$\triangle ABH \equiv \triangle ACH$$

合同な図形では、対応する辺は等しいので、

$$BH = CH$$

参考

点 A を通る直線 BC の垂線のかき方には別の方法もあります。直線 BC 上の適当な2点を中心として点 A を通る2円をかき、その交点と点 A を通る直線をひいてもよいです。

数学奇談～弁論術の効用～

今から2300年も前のこと、ギリシアの都アテネに弁論術を教える先生がいた。

この先生について弁論術を勉強していた学生の中に、授業料を払おうとしない者がいたのだが、先生が何度授業料を催促しても、さすがに弁論術を勉強しているだけあって、何かと理由をつけて一向に払おうとはしない。そこで、ついに先生は裁判に訴えることにした。

「お前は、この先生に弁論術を教えてもらったのか？」

「はい、教えてもらいました。」

「では、授業料を払わないというのは本当か？」

「はい、本当です。」

「なぜ払わないのか？」

「私は、確かに先生から弁論術を教えてもらいましたが、最初のふれこみと違って少しも役に立ちません。契約違反なので、授業料を払う必要がないと思ったからです。」

この学生の発言に対して、先生は次のように言い返した。

「どちらにしても、お前は私に授業料を払わなければならない。なぜなら、この裁判にお前が勝てば、私の教えた弁論術のおかげだからだ。私が教えたことが役に立たないということがウソになるからな。また、お前が裁判に負ければ、もちろん授業料を払わなければならないからだ。」